

教育目標

1 本校の教育目標

知・徳・体の調和がとれ、たくましく生きぬく児童を育成する。

めざす児童像

- 強く……いのちを尊び、こころやからだを鍛え、たくましく生きる子
- 正しく……自ら学び、深く考え、主体的に行動する子
- きまりよく…礼節を重んじ、自らを律し、自他とともにこころ豊かな生活を築く子

合言葉 <元気で 仲よく 大好き 木西>

めざす学校像

- 児童・保護者・地域にとって、安全で安心できる学校
- 児童が「学校大好き」と感じる学校
- 心身ともに健康で、常に笑顔で協働できる教師が集う学校

2 経営方針

ア 確かな学力の育成

多様な学習方法や個別最適な学びに関する学習指導法を研究し、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるとともに、主体的・対話的に探究し、よりよく問題を解決できる力を身に付けさせる。

イ 豊かな心の育成

豊かな人間性と生涯学習の基礎となる資質を育むために、「心の教育」を重視する。道徳教育、体験活動、交流活動等を通して、自尊感情を高め、豊かな感性と思いやりの心を育成する。また、規範意識の高揚に努め、望ましい社会性を培う。

ウ 健やかなからだの育成

健康教育の充実を図るとともに体力づくりの場を工夫し、望ましい生活習慣の定着を図る。また、健康で安全な生活を送るための基礎を培う。

エ 信頼される学校づくり

教員の指導力を向上し、家庭や地域から信頼される学校づくりに努める。また、地域の教育力を積極的に取り入れ、地域に学ぶ教育活動を推進する。家庭、地域と協力し、児童に安心・安全な環境をつくる。学校の取り組みについて情報発信の充実に努め、家庭や地域から理解を得る。

3 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の向上

- ・学んだことを活用する力を身に付けさせるために、基礎学力の向上、話し合い活動の充実に努める。
- ・個別の課題に対して前向きに取り組み、できる喜びを味わわせるとともに、さらに新しい課題を見つけ主体的に学ぶ態度を養う。
- ・木曽川地区小中学校共通の学習ルール・マナーの指導をすすめ、学ぶ態度を身に付けさせる。
- ・「読む、書く、聞く、話す、計算する」などの基礎学力向上を図るため、ICT を効果的に使う、教科担任制を取り入れるなど指導を工夫してわかりやすい授業を行うとともに、知識、技能の定着に粘り強く取り組む。
- ・発達や障害に対する教員の理解を深め、個に応じた指導の充実を図る。
- ・英語、英語活動、国際理解教育の充実を図り、外国への理解を深め、尊重する心を育てる。
- ・キャリア教育の充実を図り、未来へ希望をもち、主体的に生きる力を育てる。

イ 心の教育の推進

「元気で なかよく 大好き 木西」を合言葉に、心豊かな子の育成に努める。
元気…心も体も元気 なかよく…思いやりをもち、人を大切にする
大好き 木西…学校や地域に愛情と誇りをもつ

- ・ 道徳教育、人権教育の充実に努め、道徳性を養う。
- ・ ピア・サポート活動を取り入れ、共感的な人間関係でつながる集団づくりに努める。
- ・ 異学年交流を取り入れ、自他を大切にする思いやりの心を育てる。
- ・ 学級生活調査を活用し、よりよい人間関係を築いたり、自尊感情を高めたりすることができる学級経営を行う。
- ・ 体験活動を通し、豊かな感性を育てる。
- ・ 伝統である歌声を守ることを通し、心を合わせて活動するすばらしさを味わわせる。
- ・ いじめ防止をめざした児童の主体的な活動を活性化し、いじめの未然防止に努める。
- ・ いじめ、不登校の防止対策に全校で組織的に取り組む。
- ・ エコスクール運動、環境教育を通し、環境問題に主体的に取り組む態度を養う。
- ・ 一宮の伝統や文化、日本の文化・歴史、諸外国の文化等に対する知識を深める。
- ・ 郷土を題材とした学習を取り入れ、愛校心、郷土愛を育てる。

ウ 健やかな体の育成

- ・ 感染症対策等、健康の保持・増進のための知識を定着させ、セルフコントロールできるようにする。
- ・ 体育の授業、体育的行事などを通して、運動に親しませ、体力の向上を図る。
- ・ 給食、栽培活動等を通して、食への関心を高め、その大切さを理解させる。
- ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨するなど、家庭と協力して健康教育をすすめる。
- ・ 交通安全指導、避難訓練、危険予知トレーニング等の安全教育を充実し、安全への意識を高める。
- ・ 情報モラル教育を充実し、情報社会に対応する力を育てる。

エ 信頼される学校づくり

- ・ 教員が学び合う場を増やし、指導力の向上に努める。
- ・ 地域の教育力を積極的に取り入れ、地域に学ぶ教育活動を推進する。
- ・ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進を図り、小中連携し、9年間を見通した教育に取り組む。
- ・ 家庭、地域と協力して、児童にとって安心、安全な環境を整える。
- ・ 学校の取り組みについて家庭や地域への情報発信の充実に努める。

オ 「働き方改革」を推進し、多忙化解消に向けた取組

- ・ 業務改善に対する職員の意識を高め、全職員で仕事の効率化に取り組む。
- ・ OJTにより教員の力量向上を図る。
- ・ 学校教育活動、行事、会議等を精選する。
- ・ 保護者、地域の理解を深めるため、学校の取組を広報する。